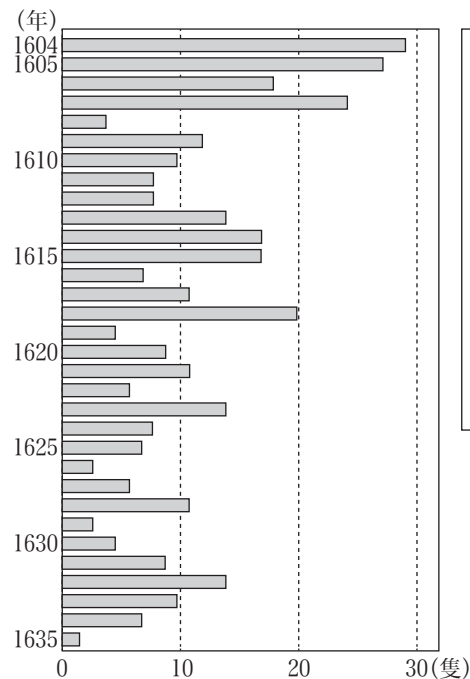


問6 下線部㉔に関連して、次のグラフと年表は「朱印船の渡航回数」「江戸初期の外交」をそれぞれ表したものである。グラフと年表に関して述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 31

グラフ 朱印船の渡航回数



年表 江戸初期の外交

1602年	オランダ、東インド会社設立
1604年	ポルトガル船に糸割符制度を適用
1610年	田中勝介がメキシコへ渡航
1613年	慶長遣欧使節の派遣
1622年	元和の大殉教
1631年	奉書船制度開始
1635年	中国船の入港地を長崎に制限

- ① グラフによれば、初めて武家諸法度が発布された年に、朱印船の渡航回数は最大となった。
- ② グラフと年表によれば、長崎で55名のキリスト教の宣教師や信徒が処刑された年以降、朱印船の渡航回数は減少し続けた。
- ③ グラフと年表によれば、幕府がポルトガル人の生糸の持ち込みへの対応策をはじめた年に、朱印船の渡航回数は最大を記録した。
- ④ グラフと年表によれば、伊達政宗が家臣の支倉常長をスペイン(イスパニア)に派遣した翌年、朱印船の渡航回数は最小となった。